

「主イエスのバプテスマ(洗礼)」

マタイ3:13～17 p4

今の時代、情報の伝達は早く、地球の片隅で起きたことも、すぐに知ることができる。

しかし2000年も前の時代、主イエスが主なる神のみこころに従い、人々の注目する中でご自分を現し、十字架を目指し、実行する歩みを始めるために、どうしても主イエスがヨハネによりバプテスマを受けることと、水から上がった時、聖霊が鳩のように主イエスの上に降られ、周りにいた者にさえ聞こえるように、天地創造の神様の承認の御声を頂くことが必要であった。

それでは、バプテスマ(洗礼)を受けるとは、どのような意味があるのだろうか？バプテスマ(洗礼)といえば、私たちもクリスチャンになるとき、バプテスマ(洗礼)を受けた。バプテスマ(洗礼)はクリスチャンになるための行事のように思っている者も多いが、洗礼とは単なる水をかぶるだけのことだろうか。そうではない。私たちが知らない、気づいていない。信じていないだけで、神様の側ではバプテスマ(洗礼)を受けた人は、「水死した人」に認められ、定められている。

つまり神の前に罪を認め洗礼を受けた人とは、今まで自分の思い通り好きなように生きてきて失敗した人生とその生き方に死んで、終止符を打って、今度は、自分の思い通りではなく、心の真中にイエス様に生きて頂き、主イエス様の思い通りに、神様の喜ばれる生き方をするように生まれ変わった人のことなのである。

それでは、神の子、主イエスはどうかのだろうか、主イエスはバプテスマを受けられ、「祈らないでもやっていける」というものを、川底に脱ぎ捨てて来たのだと言う人がいる。この方を自分の心にお迎えするなら、私たちも、信仰により主イエスと一つとされ、いつも神様に祈り、お尋ねし、御声をいただき、神様の喜ばれる者に変えられる事ができるのである。

[聖書の学び]

I、主イエスとバプテスマのヨハネとの出会い

(マタイ3:13～17 p4)

1、ヨハネに与えられた使命 = 主の道を用意すること (マタイ3:3) =

1) 人々の注目を集め、救い主が来られる前に、ヨハネがしたこと。

①ヨハネの姿…マタイ3:4

②ヨハネは悔い改めのバプテスマを授けた

2) 自分の後に来られる方の予告と紹介

① ヨハネが履き物を脱がせてあげる資格がないほど力のある方

② 聖霊と火でバプテスマを授けられる方

③ さばき主… 自から良いものと悪いものを区別され、悪いものは焼き尽くす方

2、主イエスはどこにおられたのでしょうか。(マルコ1:9=ナザレから来られた)
マタイ3:13… バプテスマを受ける列に入いられた。(自分は罪人であると認めた人々の列)

3、マタイ3:14… ヨハネは驚いて、バプテスマを授ける事を断った

断った理由 → 罪を犯したことがない主イエスには、バプテスマを施す必要がない。

※ **聖書には書いていないけど…?** ——— ヨハネはどうしてイエスがキリストであると分かったのでしょうか？
想像してみましょう。

4、主イエスがあえてバプテスマを受けられた理由

①父なる神が、ヨハネにバプテスマを授ける使命と権威を与えられた。(ヨハネ1:33 p177)

主イエスは父なる神をあがめられ、自分がバプテスマを受けることが父なる神の喜ばれる事であると確信されていた。(マタイ3:15)

②この後、イエス・キリストを信じる者は割礼ではなく、水のバプテスマを受けるように変わっていった経緯がある。

・ヨハネ3:5 p179

・マルコ16:16 p105

II、主イエスに与えられた聖霊と父なる神の御声 (ルカ3:21、22 p114)

1、ヨハネが主イエス様にバプテスマを授けたとき、何が起きたのでしょうか。

① ルカだけが、バプテスマを受けられた直後、どうされたかを書いています。見ましょう。
主イエス様はどうされたと書いてありますか。(ルカ3:21)

・川底に全てを捨てられた主イエス…自分では何も出来ない。父なる神のお指図を待たれた。

・このむなしい主イエスに、天が開かれた…三位一体の神が一つになられた

②聖霊によって誕生された主イエスに、さらに、水のバプテスマと聖霊によるバプテスマの両方が与えられました。

・ルカ3:22 =

※ 鳩が舞い降りれば五感に感じる。鳩の形かどうかは分からないが、何かそこに実在感が伴ったのであろう。

③天からの御声があった。= みことばが与えられた (ルカ3:22)

* **ディスカッション** (心を開いて話し合ってみましょう)

Q. 今日学んだことについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。